

行こうよ！

# 竜岩自然の家！



夏が始まり、今年こそはコロナ対策を万全にして、お出かけしたい！そんなあなたに、昨今ブームのキャンプはいかがでしょうか？今回の特集は、3月からキャンプ道具の持ち込みができるようになった野外活動施設「竜岩自然の家」を紹介します。

## 林川家の キャンプ体験記

実際に竜岩自然の家でキャンプをしていた林川さん家族に密着させてもらいました。

今回のキャンプは2回目という林川さん。2週間前に職場の同僚と行った初めてのキャンプが楽しくて、それから道具も買いそろえたそうです。子どもたちはもちろん、両親も楽しみにして来られたとのこと。

キャンプ場に到着。手入れされた敷地は、区画ごとに貸し出されています。テント設置や荷ほどきなど家族で力をあわせて作業を進めました。

そのあとは、たき火の火起こし。まきなどの下準備は父親の紀章さんが行い、着火は兄の久紀くんの仕事。家族の中で一番



(左から)紀章さん、久紀くん、政紀くん、みのりさん



慣れた手つきで火をつける久紀くん

着火が上手らしく、すぐに火をつけました。こういった技術はいろいろな場面で役立ちそうです。

本日のご飯の予定は、くん製料理「バーベキュー(BBQ)」、チーズフォンデュ。ご飯の準備の間、子どもたちは近くの広場へ。夫婦で、先にできたくん製チーズを手に準備を進めます。キャンプ場内には貸し出しの冷蔵庫もあります。「食材や飲み物が冷えた状態で保存できるのはありがたいです」とのこと。

いよいよお楽しみのご飯の時間。火を囲み、野外で楽しむ食事は、一層おいしく感じます。おいしいご飯を味わいながら、学校での出来事、将来の話などいろいろな話がいつもよりゆっくりできたようでした。

おしえて

## あなたの お気に入りのアイテム

竜岩自然の家は、3月からキャンプ道具の持ち込みができるようになりました！そこで利用者の皆さんにお気に入りの道具を聞いてみました。



林川 紀章 さん

密着にもご協力いただいた、林川さんのお気に入りの道具は、「たき火台」。キャンプを始めるにあたり最初に買った道具の一つのことです。

ゆらゆらと揺れ動くたき火をただ眺めるだけでも癒されます。料理にももちろん利用でき、「キャンプの必須道具ですね」と話してくれました。



南 さん 家族

家族や息子家族と利用の南さん。大切にしている道具は、「BBQコンロ」。大人数でも安心のサイズ感に、横掛けできる部分もあり、ちょっと食材を置いたり、トングをかけたりと細かな

所で役立ちます。

「久々に利用しましたが、手洗い場やトイレなどきれいに整備されており、また利用したいです」とのことでした。





竜岩自然の家 所長  
品川 康彦さん

キャンプをしてみたいけれど、キャンプ道具を持っていない、と言う人も大丈夫です！ 竜岩自然の家はキャンプ道具の貸し出しを行なっています。また、ログハウスや休憩棟といった施設もあり、日帰り利用もできるので、自分にあったスタイルでの体験が楽しめるのも竜岩自然の家の良さです。

キャンプの他にも、プレイドーム、クライミングウォールなどさまざまな体験ができる施設もあります。

野外活動施設として、自然の中での体験を通して、社会生活のマナーやルールを身につけ、心を育んでもらえればと思います。

予約期間や注意事項などがあるので、興味のある人はまずは気軽にお問い合わせください！



竜岩自然の家は四季折々の楽しみがあります。この日の最後は家族でホタル鑑賞をしました。  
炭の焼ける音、宝満川のせせらぎ。たき火を眺め、静かな時の流れを楽しむ。  
「またすぐにでも利用したいですね」キャンプの楽しさと家族の時間を満喫した林川さん家族でした。



火を囲み、家族だんらんの時間を楽しむ林川さん家族



場 市内柚須原373-1 ☎(921)3455  
HP 市HP→「子育て・教育」→「学校・教育」→「竜岩自然の家」



大木さん 家族

日帰りでの利用をしていた大木さん家族。お気に入りの道具は「テント」。西日や横風を防いでくれる、横幕があるのが良いですね。  
大木さん家族は、月に1回のペースで竜岩自然の家を利用しているとのこと。「利用しやすい金額で、外での食事や川遊び、大きな広場など、子どもたちと遊びながらいろいろな経験をさせてあげられるのはありがたい」とのことでした。